

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	井出 晴美（7）	<p>1. 「はじめに」について</p> <p>「東京2020オリンピック・パラリンピックにおけるスイス連邦水泳チームの事前合宿誘致を実現するとともに、常葉大学富士キャンパス跡地につきましては、関係者の皆様との調整を進め、スポーツと健康を通じた交流拠点の形成に向けた活用に目処を付けることができました。」とあるが、スポーツウェルネス交流ゾーンのスポーツと健康を通じた交流拠点の形成に向けた活用の完成予想図はどのようなものを考えているのか伺う。</p> <p>2. 「施策の大要」について</p> <p>(1) 第1に『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策より</p> <p>「防災対策につきましては、新たに、支援が必要な高齢者世帯等を対象とした家具の転倒防止対策を実施するとともに、木造住宅耐震補強の計画と工事を一体的に実施した場合の補助額を上乗せするほか、通学路及び避難路等の危険なブロック塀等の撤去・改善に対する助成を拡充いたします。」とあり、補助金等の拡充を行っていただくものと思いますが、新たな拡充の実施内容及び目標達成に向けての取り組みについて伺う。</p> <p>(2) 第2に『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策より</p> <p>① 「看護専門学校においては、質の高い教育を提供するため、中央病院等と連携して看護教員の確保に取り組んでまいります。」とあるが、確保計画と具体的な取り組み内容について伺う。</p> <p>② 「新たに、妊娠・出産や子育てに関する悩みを持つ妊産婦に対し、助産師や子育て経験者等による相談を行う産前・産後サポート事業を実施いたします。」とあるが、サポート事業をどのような体制で行うのか伺う。</p> <p>(3) 第3に『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策より</p> <p>① 「新産業の創出につきましては、『富士市CNF関連産業推進構想』に基づき、事業者の取組ステージ等に応じた研究会の開催、専門ウェブサイトやCNF普及推進員による情報発信・普及啓発、補助制度による支援に取り組んでまいります。また、地域の枠組みを越えた産学官の更なる連携強化とマッチング機会の創出に向け、事業者、高等教育・研究機関、行政等から組織する『（仮称）富士市CNFプラットフォーム』を創設いたします。」とあり、今回、富士市CNF関連産業推進構想案が示され、その中に将来像「CNFでつながり ひろがる ものづくりのまち ふじ」の実現に向けた5つの方針が示され、そのサブタイトルに「持続可能な社会を創るまちへ」とありました。このタイトルにあるように、本市が持続可</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
6	井出 晴美（7）	<p>能な開発目標（SDG s）17のゴールを目指すまちであることを表明しつつ、新産業の創出に取り組むことが重要と感じましたが、市長のお考えを伺う。</p> <p>② 「観光振興につきましては、衛星放送局『WOWOW』による音楽とキャンプを融合させた初のイベント『FUJ I &amp; SUN ’ 19』が、本年5月に富士山こどもの国で開催されることから、本市を全国へPRする絶好の機会と捉え、誘客に繋げるとともに、継続的な開催となるよう支援してまいります。」とあるが、「FUJ I &amp; SUN ’ 19」を開催することによる本市への経済効果と継続的な開催支援を行うことによる環境整備はどのようにお考えか伺う。</p> <p>(4) 第5に『魅力ある教育を実現するまち』をつくるための施策より</p> <p>「『紙のまち 富士市』としての発信力を強化するため、ふじ・紙のアートミュージアムの運営体制を見直し、企画展やワークショップのより一層の充実を図ってまいります。」とあるが、議会の事業評価において「あまり評価できない」、「大幅な見直し」との評価が下され、今回、反映状況が示されましたが、最も見直すべき展示内容の検討や来館者の満足度の検証に対する見直しがなされていないように思うが、今後どのような芸術空間をイメージし発信しようとしているのか伺う。</p> <p>3. 「むすび」について</p> <p>「『随所に主たれ』という気概を持って、あらゆる場面において自ら考え行動してまいります。」との決意が述べられておりますが、市長が目指す市長並びに市職員の主体性について伺う。</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	小山 忠之（26）	<p>1. 「新年度の市政運営に向けて」について</p> <p>(1) 3つのプロジェクトを重点的に推進する上で、新年度を「市民と共に創る生涯青春都市 富士市 進取の年」と位置づけた。一方、プロジェクトの推進で、「回り始めた都市活力再生の歯車を加速させ」とある。これについて、</p> <p>① 進取の年と位置づける「進取」の内容について例示されたい。</p> <p>② 都市活力再生の歯車が回り始めたとする根拠を示されたい。</p> <p>(2) 重点プロジェクトの第3「活力みなぎる仕事づくりプロジェクト」で、「シティプロモーション活動を市内外で展開することにより、関係人口の増加を図るとともに、郷土愛やまちへの誇りを醸成」とある。そこで、</p> <p>① 関係人口をどう掘り起こし、まちの活性化にどのように取り込んでいくかは重要である。考えを伺う。</p> <p>② 郷土愛や誇りは官製的に醸成されるものではないと考える。ここではどのような手法を想定して醸成していくのか。</p> <p>2. 「施策の大要」について</p> <p>(1) 第1、『安全で暮らしやすいまち』をつくるための施策について、「消防吏員及び消防団員の退職者を対象とした、災害現場での消防団活動に従事する新たな機能別消防団員制度を導入」とある。</p> <p>① 既存の消防団、地域自主防災組織との役割分担と連携について</p> <p>② 災害現場の活動の延長で、災害関連死等、二次災害の防止の重要性が注目されており、新たな団はそうした任を担うこともできるか。</p> <p>(2) 第2、『健やかに安心して暮らせるまち』をつくるための施策について</p> <p>① 中央病院に関して、「老朽化している施設の建て替えについて引き続き検討を進める」とある。施設更新の検討のプロセスは極めて重要である。</p> <p>ア 検討経緯の最大限の透明化を担保するため、公開の原則を一貫して保持することについて、基本的な姿勢とお考えを伺う。</p> <p>イ 検討内容、さまざまな課題等については、適宜または随時、議会等に対する説明責任を果たすことについて、基本的な姿勢とお考えを伺う。</p> <p>② また、地域包括ケアシステムの構築について、「身近な地域で高齢者の相談を受ける体制を充実させるため、引き続き小圏域への高齢者地域支援窓口の設置を進める」とある。顔の見える圏域における支援窓口の充実が地域包括ケアシステムを根づかせる上で必須条件とも考えられるが、その位置づけや財政的裏づけ等についてはなお</p>	市長

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
7	小山 忠之（26）	<p>課題少なくなしとの指摘も聞く。そこで、</p> <p>ア 支援窓口に期待する主たる役割と、地域包括支援センターとの役割分担について伺う。</p> <p>イ 支援窓口の一層の体制充実に向けた財政措置について伺う。</p> <p>(3) 第3、『産業が交流するにぎわいのまち』をつくるための施策について</p> <p>① 「引き続きインターンシップ支援事業を実施するなど、UJIターンを促進」とある。間口を広くとることもよいが、ここはむしろ、Uターンに絞ってみてはどうかと考え、Uターン対象者の掘り起こしと対象者に対する地域就業情報等のきめ細かな発信の継続で、地域との強い結びつき意識の日常化を図ることについて伺う。</p> <p>② また、この項においては、農業政策について「引き続き、農地中間管理事業等による農地集積を促進するとともに、耕作放棄地の解消と優良農地の造成に向けた取組を進め」とある。これに関して、</p> <p>ア 農地集積の一方、兼業農家や小規模農家の存在意義は小さくないと思われることから、その維持・持続についてどのような対策を進めていくか。</p> <p>イ 耕作放棄地、荒廃農地の原状回復(解消)対策についてはどう対処していくか。</p> <p>(4) 第6、『人にやさしい便利で快適なまち』をつくるための施策について</p> <p>① 土砂等の埋め立てに関する違反行為に関して、「非常事態宣言に基づき、『埋立て事業等庁内対策会議』による全庁的な対策を行うとともに、県や関係機関との連携を図り、毅然とした姿勢で厳正に対処」とある。これについて以下、伺う。</p> <p>ア 非常事態宣言における違反行為対処への、まず最小限の成果指標は、違反行為を速やかにやめさせ事後処理を徹底させるとともに当事者の法的責任を追及していくことと考える。これに照らして、非常事態宣言後の庁内対策会議の具体的な活動(アクション)と違反行為の推移と現況、これらを通した全庁的対策の成果について示されたい。</p> <p>イ 違反行為の圧倒的長期化を教訓とした、違反の根絶、違反に対する迅速かつ厳正な対処のための、現行条例改正強化を含む抜本的な対策(アクションプログラム)について、新年度内に確立、実施していく用意と覚悟はあるか。</p> <p>② 「移住・定住につきましては、引き続き、『スミドキU-40プラス』により若者世帯の転入を促進する」とあるが、Uターンの際の親等の同居、近居等に対する本格的な助成に関し、迅速に対応することについて伺う。</p>	市長